

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会議名	令和6年度第2回木津川市子ども・子育て会議		
日時	令和6年10月24日（木）	場所	木津川市役所
	午後2時00分～午後3時15分		5階全員協議会室
出席者	委員	別紙のとおり	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 1人
	庶務	こども未来課	■公開 □非公開 □一部非公開
議題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の素案について 【資料1】【付属資料】</p> <p>（2）医療的ケア児の保育所等受入れガイドラインの見直しについて 【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】</p> <p>（3）その他 令和6年度公立幼稚園・認定こども園の入園応募状況について 【資料3】</p> <p>4 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会</p> <p>事務局より、開会宣言。市長あいさつ及び各委員紹介は、短時間での会議を執り行うため、割愛させていただく旨のお詫びと、会議成立要件定足数の報告。</p> <p>子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援法、木津川市子ども・子育て会議条例を設置根拠として設置される市の附属機関である旨等説明。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>本日は令和6年度第2回木津川市子ども・子育て会議の開催にあたり、公私ともにご多忙のところご出席を賜り、ありがたく思う。昨今は夏と冬しかないような気候だが、ご自愛いただきたい。今回の会議では3つの議題があるが、忌憚のない意見をお願いしたい。なお、署名委員は出席委員の中から指名させていただくことになっているため、本日の会議録の署名委員については、森岡委員を指名させていただく。</p>		

4 議事

主な意見・質疑等はつぎのとおり

(○：質疑・意見 ⇒：質疑に対する返答)

(1) 第3期子ども・子育て支援事業計画の素案について

【資料1】【付属資料】

〈資料1〉〈付属資料〉に基づいて説明。

第3期子ども・子育て支援事業計画の素案への意見を求めるもの。

【質問・意見】

○計画の文章内の表記の揺れ等や文言についての意見。

⇒表記の揺れ等については修正し、文言の表現については検討する。

○木津川市ではヤングケアラーの実態について把握できているか。

⇒現状としては実態を把握できているとは言い難い。まずはヤングケアラーと呼ばれる子ども達が存在するという啓発活動から取り組んでいき、そこから実態の把握につなげていきたいと考えている。

○学校では、不審者が侵入してきた場合の体制や不審者に対応するための研修は行われているか。

⇒木津警察署と連携し対策を行っている。毎年夏休みに各小中学校の安全主任や経験年数の浅い教員を対象に、研修として木津警察の講義と実際に侵入者があったと想定した訓練を行っている。

○88ページの居場所づくりの項目にあるそれぞれの施設の開館時間を教えてほしい。こどもの居場所が市としてどれだけ確保されているか知りたい。

⇒各施設の開館時間については確認し改めてお伝えする。

こどもの居場所としては、子ども食堂が木津川市内で4か所あり、これはこどもの居場所を作りたい人を支援する「きょうとこどもの城づくり事業」という事業を活用して設置されている。しかし、こどもの居場所として設置されている場所と、居場所を必要とするこどもがいる場所のミスマッチが起こっているという課題や、塾やクラブ活動、最近ではバーチャル空間等もこどもの居場所と成り得るが、居場所を作る人と居場所を求めるこどもとの間で居場所に対する認識が違うので、そのすり合わせが必要といった課題等があり、地域づくりやまちづくりの視点から専門家やコンサルタントの支援も必要ではないかと

考えている。

○私立幼稚園がこども園となった場合に入園料を徴収することは、木津川市は認めているか。

⇒木津川市では私立幼稚園から認定こども園に移行した例はないが、今後そういった事例があった場合は貧困家庭に対する料金の徴収のあり方等、様々な視点から検討する。

(2) 医療的ケア児の保育所等受入れガイドラインの見直しについて
【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】

〈資料2-1〉〈資料2-2〉〈資料2-3〉に基づいて医療的ケア児の保育所等受入れガイドラインの追加・変更箇所について説明。

【質問・意見】

○1か月利用が無ければ認定取消とあるが、子どもが入院した場合、退院後の預け先がないという不安な状況になるのではないか。

⇒待機されている方もいらっしゃるので、基本的には1か月間利用が無い場合は認定取消という対応で考えている。

○たくさんの提出書類が必要となるが、書類の記入箇所を減らす等の保護者の負担軽減はできないか。

⇒ご提案の通り、できる限り保護者に負担がないような形での対応を検討する。

(3) その他

令和7年度公立幼稚園・認定こども園の入園応募状況について

【資料3】

〈資料3〉に基づいて、公立幼稚園及び公立の認定こども園の令和7年度4月入所の一斉申し込みの応募状況について説明。

【質問・意見】

○特になし。

5 閉会

事務局健康福祉部山本部長からお礼のあいさつ

本日はご多忙の中、会議に出席を賜り、改めてお礼申し上げます。本日の審議の中で、ヤングケアラー、ひきこもり、貧困、こどもの居場所の考え方、医療的ケア児等、色々とキーワードが出てきたと考えて

	<p>いる。これらは、これまでの子育て施策の中で十分な手立てができていなかったと感じるところである。こういったことは実態を掴むことが困難であったり、個々の状況に応じて対応が必要であったりと難しい課題であるが、丁寧に対応することで木津川市において子育てが安心してできる町だと感じていただけたらと考えている。</p> <p>第3期木津川市子ども・子育て支援事業計画は、第2期計画を継承するとともに、こども大綱、こども基本法に示されている「こどもまんなか社会」を踏まえ、今後作成するこども計画に繋がることを意識して検討を進めている。</p> <p>今後の予定では1ヶ月間パブリックコメントの募集を行った後に最終案を取りまとめ、来年2月頃に委員の皆様からご意見をいただきたいと考えている。</p> <p>2月は年度末を控えて、お忙しい時期と存じるが、この計画は木津川市のこどもの幸せに繋がる計画であるので、引き続き、本会議の運営にご理解ご協力を賜るようお願いする。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>特になし</p>
<p>署名欄</p>	<p>木津川市子ども・子育て会議 会長</p> <p><u>安藤 和彦</u></p> <p>木津川市子ども・子育て会議 委員</p> <p><u>森岡 章子</u></p>

令和6年度第2回木津川市子ども・子育て会議出席者名簿

No.	所属	役職	氏名	備考
1	やましるこども園 保護者会	代表	塚原 裕美子	子どもの保護者
2	こそだてママnet☆	子育て コーディネーター	福井 早苗	子どもの保護者
3	相楽幼稚園	保護者代表	坂崎 沙織	子どもの保護者
4	株式会社 ミツワ製作所	営業技術部 次長	木下 晴介	事業主を代表する者
5	いづみ児童デイサービスかも	施設長	丸岡 哲子	事業主を代表する者
6	自治労木津川市職員組合	代表	垣内 龍人	労働者を代表する者
7	木津保育園	園長	吉田 俊美	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
8	相楽保育園	園長	中西 由美	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
9	いづみこども園	園長	古川 方美	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
10	愛光兜台こども園	園長	藤田 実	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
11	梅美台こども園	園長	中島 雅美	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
12	認定こども園木津さくらの森	園長	州見台さくら 園長 田中 久善【代理】	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
13	なごみこども園	園長	伊瀬 祐美子	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
14	藍咲学園	園長	荒木 啓好	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
15	木津幼稚園	園長	井ノ上 恵己子	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
16	みかのはら幼稚園	園長	志水 百合子	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
17	公立小・中学校校長会代表	校長	田中 成一	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者
18	京都西山短期大学	客員教授	安藤 和彦	学識経験者
19	教育・保育経験者	元保育園長	森岡 章子	学識経験者
20	木津西部民生児童委員協議会	主任児童委員	辰本 千春	関係機関
21	社会福祉協議会事務局	事務局長	渡邊 かおる	関係機関
22	京都府 山城南保健所	福祉課長	柘植 一二	関係機関

事務局名簿

所 属	役職	氏 名	備 考
健康福祉部	部長	山本 昌宏	
健康福祉部	理事	吉岡 淳	
学校教育課	課長	東村 泰嘉	
こども未来課	課長	比志島 哲也	
こども未来課	課長補佐	新田 真司	
こども未来課	係長	吉岡 智子	
こども未来課	主任	野崎 朋子	
こども未来課	主任	城田 紗季	